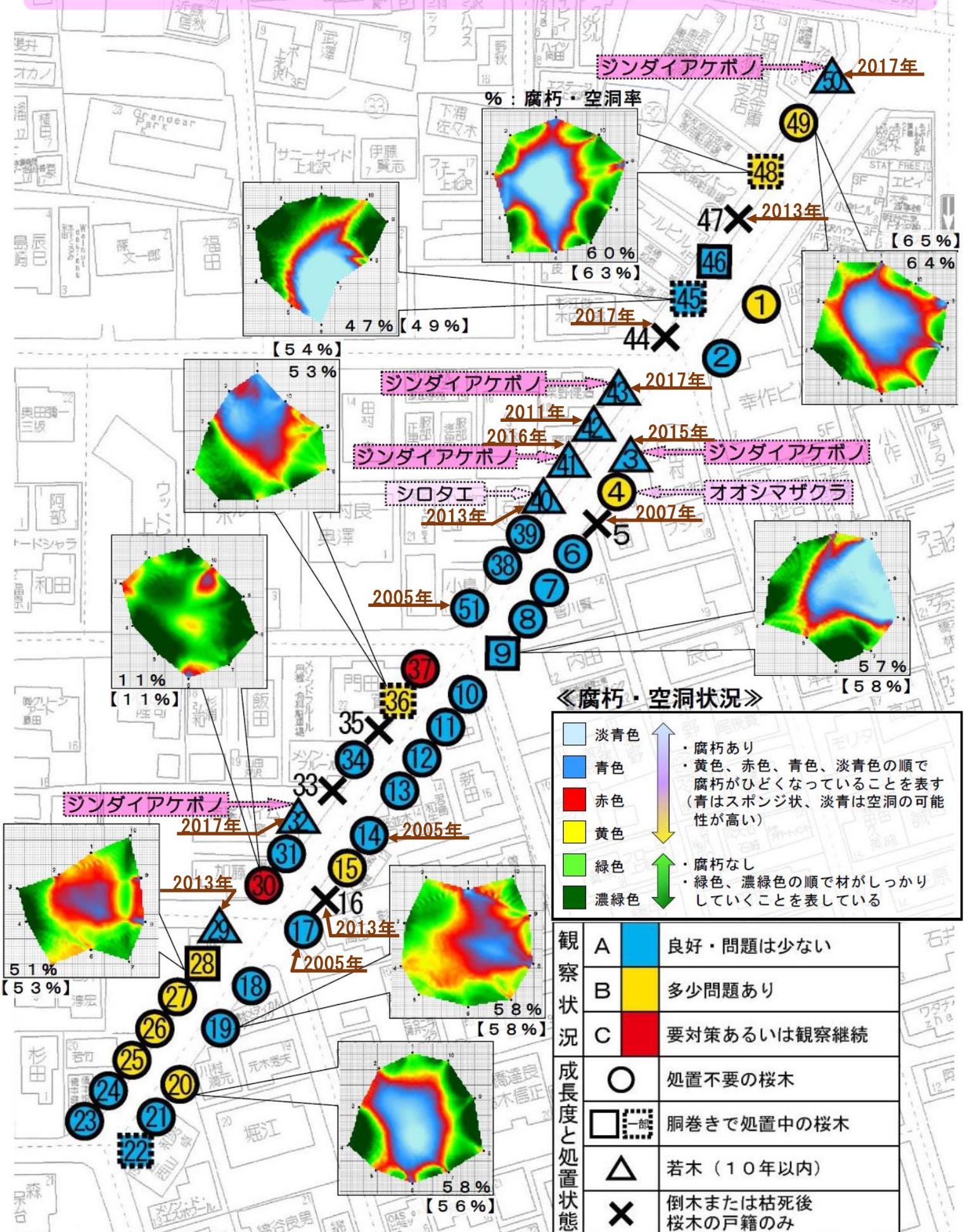
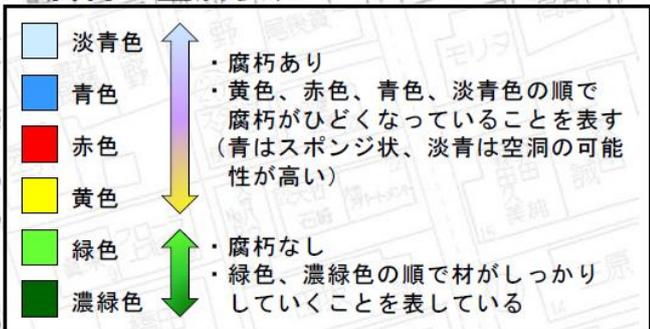


この資料は 3月11日『花芽観察会』にお配りする予定です



《腐朽・空洞状況》



観察状況	A	良好・問題は少ない
	B	多少問題あり
	C	要対策あるいは観察継続
成長度と処置状態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木 (10年以内)
	×	倒木または枯死後桜木の戸籍のみ

石井樹木医判定 (平成29年2月26日)

画像診断調査 (平成30年1月18日) 【前回: H28. 9. 30】

*：地上高1.3mの位置の胸周囲(H24⇒H25⇒H26⇒H27⇒H28⇒H29⇒H30)[2月10日調査]

区設定コード	石井樹木医判定 [A→C] (良)→(悪)	平成28年 精密診断による 腐朽率[空洞率](%)	平成29年 1月～2月の 処置	平成29年2月観察結果とその後の処置等
1	B			・歩道側(東側)の根が無い。・倒木の危険はある。・Cランクに近い。 ・上部は元気でも、下部は弱っている(コブ病がある)。
2	A	47	上部剪定	・30年未満の桜である。・風の影響で多少ねじれはあるが、良好。・根は元気。・枝にコブ病がある。
50	A		植替え	・2017年1月移植。[ジンダイアケボノ]⇒神代植物園に原木がある、テングス病に抵抗があるとされる。 ・*胸周囲27.5(H29)⇒28.5cm
49	B	65	上部剪定	・風の影響で幹がねじれている。・若くて良い枝が出ている。
48	B	63	上部剪定	・車の衝突跡があるが、全体的に生命力がある。 ・サルノコシカケやシロアリがみられるが、根はしっかりしている。
47	***			・2018年7月伐採(駐車場出入口に近いため植替えはしない)。
46	A			・4、5年前に比べ幹は太くなっている。・10年前に比べ凹凸が多くなっている。 ・ヤマザクラ系エドヒガン系の桜は上部の若い部分は横シマで、下部は縦シマになっている。
45	A	49	上部剪定	・樹齢60年以上。・不定根で再生中。・樹勢は問題ないが、樹形が悪く、折れやすい(危険木)。 ・先端はコブがあり、次回の剪定時には処置する(コブの生体は不明)。
44	***			・2017年8月伐採。
3	A			・2015年11月28日移植。・[ジンダイアケボノ]・*胸周囲15(H28)⇒19⇒25cm
4	B			・[オオシマザクラ]・壮年期の桜。・Bランクに降格。・何らかの病状が出はじめている。 ・*胸周囲116⇒122⇒128⇒134⇒137⇒137.5⇒139cm
5	***			・2007年ナラタケモドキによって根株腐朽し枯死。
6	A			・とくに問題はない。・2016年6月16日植樹を改良。
7	A			・2015年11月27日植樹を改良。・先端部の枝に悪い部分があるが、全体的に大きな問題はない。 ・*胸周囲160⇒161⇒162.5⇒165⇒166⇒167⇒168cm
8	A			・不定根が育っている。・とくに問題はない。
9	A	58	上部剪定	・樹形は悪いが、不定根が土に下りて問題はない。・戦前からの桜の可能性有り。 ・樹高が低く、根もしっかりしているが、腐朽もあり、やや危ない木となりつつある。
43	A		植替え	・2017年1月移植(樹齢は6～7年)。・[ジンダイアケボノ]・*胸周囲29(H29)⇒31cm
42	A			・2011年12月15日移植。・*胸周囲21.5⇒25.5⇒34⇒39⇒44⇒48.5⇒49cm
41	A			・2016年2月8日移植。・[ジンダイアケボノ]・葉芽が多く、花芽は少ない。 ・*胸周囲11(H28)⇒15⇒22cm
40	A			・2013年8月伐採。・2014年8月14日移植。・健全。・花芽は多い。・成長が楽しみである。 ・樹種はオオシマザクラを主としたヤマザクラ系の「シロタエ」。 ・*胸周囲18(H27)⇒20⇒23⇒25cm
39	A			・枝ぶりも良く元気である。・苔が多いが、問題はない。・とくに苔は湿気がある北側に多い。
38	A	35		・不定根はあるが、良いものは少ない。
51	A			・2005年11月移植。・幹の曲がり将来的には心配。 ・*胸周囲45⇒52⇒62.5⇒68.5⇒74⇒79.5⇒84cm
10	A	37		・樹形は悪いが、樹勢は良好。・不定根が良く育ち、幹がよみがえっている。
11	A	21		・樹勢はとくに問題はない。・2016年6月16日植樹を改良。
12	A			・幹は太くはないが、とくに問題はない。
13	A	49	上部剪定	・コブが出ており、樹勢が弱くなりつつある。・根はのたうちまわっている。
14	A			・2005年11月移植。とくに問題はない。・枝葉がだいぶ増えてきた。 ・*胸周囲38.5⇒44⇒53⇒59.5⇒65⇒73⇒81cm
15	B			・回復途中。・若い割にコブがあり、イメージは悪い。・*胸周囲75(H28)⇒77⇒81cm
16	***			・2013年7月伐採。
17	A			・2005年11月移植。とくに問題はない。・幹の途中から下は桜肌が無い(エドヒガンの樹皮のようだ)。 ・*胸周囲39⇒43⇒55⇒57.5⇒59⇒60⇒61cm
37	C	30		・根元にナラタケモドキがあり、腐朽が進んでおり、活力がない。・枝の先端が細く垂れている。 ・陽が当たりにくいのも原因か。・最も危険な桜。
36	B	54	上部剪定	・Bランクに降格。・陽当たりが悪く、樹勢が衰える。
35	***			—
34	A			・内部に若干問題が出はじめている。
33	***			—
32	A		植替え	・2017年1月移植。・[ジンダイアケボノ]・2017年に移植した3本の中では最も元気がない。 ・*胸周囲25.5(H29)⇒26.5cm
31	A			・先端の枝は勢いがある。・コブがあるが良性。・根元は露出しているが、元気である。
30	C	11		・良い枝が少ない。・幹にはコブサルノコシカケがある。 ・北側部分のみ生きており、No.37に次いで危険。
18	A	23		・樹勢はとくに問題はない。・不定根で幹を守っている。
19	A	58	上部剪定	・良い根が多く出ている。
20	B	56	上部剪定	・戦前からの桜(?)。・枝切り後であるが、あまり元気ではない。根はしっかりしている。
21	A	31		・樹勢はとくに問題はない。
22	A			・以前ひこばえが白化した。・No.23の勢いに負けている。
29	A			・2013年8月移植。・土壌と陽当たりが悪く、あまり育っていない。 ・*胸周囲17.5(H27)⇒19.5⇒23⇒26cm
28	B	53	上部剪定	・全体的にバランスが悪く、幹が道路側に傾く可能性がある。
27	B	52	上部剪定	・道路側の折れた枝から伸びた新枝は太くなってくると危険。・要経過観察。
26	B	36	上部剪定	・初代に近い頃の桜。・亀裂がある。・周辺の建物の影響かもしれないが、傾きが以前より多くなっている。
25	B	47		・初代並木の数少ない残存木。・空洞があり多少ピンチだが、根はしっかりしており、倒木の危険は少ない。
24	A			・将来的にNo.25のように空洞は出来るが、全体的に樹勢は良い。・良い枝があり、根も元気である。
23	A			・西側に亀裂があるが、とくに問題はない。・樹皮からみて20数年の桜か。 ・*胸周囲○⇒108⇒113⇒118⇒124⇒128⇒132cm

間隔が狭い